

特徴をベネフィットに変える書きかえシート

自社の商品の特徴を10個書き出し、お客様に起きる良い変化の言葉に書きかえて、インサイトに合う1つを選ぶための5枚

この5枚でできること

- ☐ 特徴を、6つの見方で10個書き出せる
- ☐ 1つずつ「だから何？」を2回聞き、メリットとベネフィットに分けられる
- ☐ 主語をお客様にして、1文に直せる
- ☐ インサイトに近い1つを選び、5段階で書き直して、3つの確かめで点検できる

使う順番

2ページで特徴を書き出す → 3ページで「だから何？」を2回聞く → 4ページで主語を変えて1つ選ぶ → 5ページで書き直して点検する。

目次

2	特徴を10個書き出す 6つの見方の表、10行の書き出し欄
3	「だから何？」を2回聞く 特徴、1回目、2回目を並べて書く欄
4	主語を変えて、1つ選ぶ 主語がお客様の文に直す欄、インサイトに合わせて選ぶ欄
5	書き直して、点検する 5段階の書き直し欄、文の終わり方の型、3つの確かめ

数字と決まりの出どころ

この資料に載せた内容は、講座第4回の記事本文と、記事に示した資料（ベネフィットの3つの種類はデビッド・アーカー本人の記事、ドリルと穴の話の出どころは Quote Investigator）で2026年10月24日に確かめたものだけです。記入例はすべて架空のお店です。

特徴を10個書き出す

良いか悪いかを考えずに、商品が持っているものを書く

見方	書き出す問い	記入例（架空の学習塾）
時間	いつ使えるか、どのくらいかかるか	自習室は夜9時まで
場所	どこにあるか、どこで使えるか	駅から歩いて3分
人	だれが対応するか	自習室に質問を受ける講師がいる
仕組み	どんな手順や決まりがあるか	宿題の終わった所を、講師が毎回確かめる
値段	いくらで、何が含まれるか	自習室の利用は月謝に含まれる
保証やあと押し	困ったときに何があるか	月に1回、保護者に連絡がある

10個出ないときは、お客様からよく聞かれる質問を思い出します。質問の答えには、たいてい特徴が入っています。

番号	自社の商品の特徴	見方
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

「だから何？」を2回聞く

1回目でメリット、2回目でベネフィット

記入例（架空の学習塾）特徴「自習室を夜9時まで使える」→ 1回目「家に帰る前に、塾で宿題を終わらせる」→ 2回目「家で『宿題やったの?』と言わなくてよくなる」

特徴	だから何？ 1回目（メリット）	だから何？ 2回目（ベネフィット）

止めどころ

こうなったら	こうする
答えが、また特徴の言いかえになった	答えの主語がお客様が見る。なっていないければ、もう1回聞く
「人生が豊かになる」のような、どの商品にも言える言葉になった	聞きすぎ。お客様の毎日の場面が目に見え始めるまで戻る

主語を変えて、1つ選ぶ

お客様を主語にすると、文の終わりが変わる

主語が商品の文	主語がお客様の文（記入例・架空）
当塾は自習室を完備しています	宿題は、塾で終わらせて帰ってこられます
講師が質問に対応します	わからない所で止まらずに、宿題を進められます

自分の文で直す

主語が商品の文	主語がお客様の文

「できる」「しなくてよくなる」で終わらないときは、まだメリットの段階で止まっています。

インサイトに合わせて1つ選ぶ

記入例（架空）インサイト「成績を上げたいと言うけれど、本当は宿題で子どもと言い合う夜を終わらせたい」→ 選ぶのは「授業の質」より「家で『宿題やったの?』と言わなくてよくなる」

書く所	書き込み欄
第3回で見つけたインサイト	
いちばん近いベネフィット	
選んだ理由	

書き直して、点検する

ベネフィットで心を動かし、特徴で信じてもらう

段階	自分の文
0 特徴のまま	
1 メリット	
2 ベネフィット	
3 インサイトに合わせる	
4 具体と根拠を足す	

段階4では、場面か数字を1つ足し、ベネフィットを支える特徴を戻します。数字は、お客様から聞いた数字や自社で測った数字だけを使います。

文の終わり方の4つの型

型	記入例（架空）
～できるようになる	家でも、美容室で整えた髪型にできるようになる
～しなくてよくなる	締め日に、手で入力し直さなくてよくなる
～の時間が増える	昼休みに、食後にコーヒーを飲む時間が増える
～が減る	宿題のことで言い合う夜が減る

書きかえたら、3つを確かめる

確かめること	印
主語がお客様になっているか	☐
毎日のどの場面が変わるかが目に浮かぶか	☐
結果を約束する書き方になっていないか（表示のルールは講座第29回と第32回）	☐